

臨時号

紫野だより

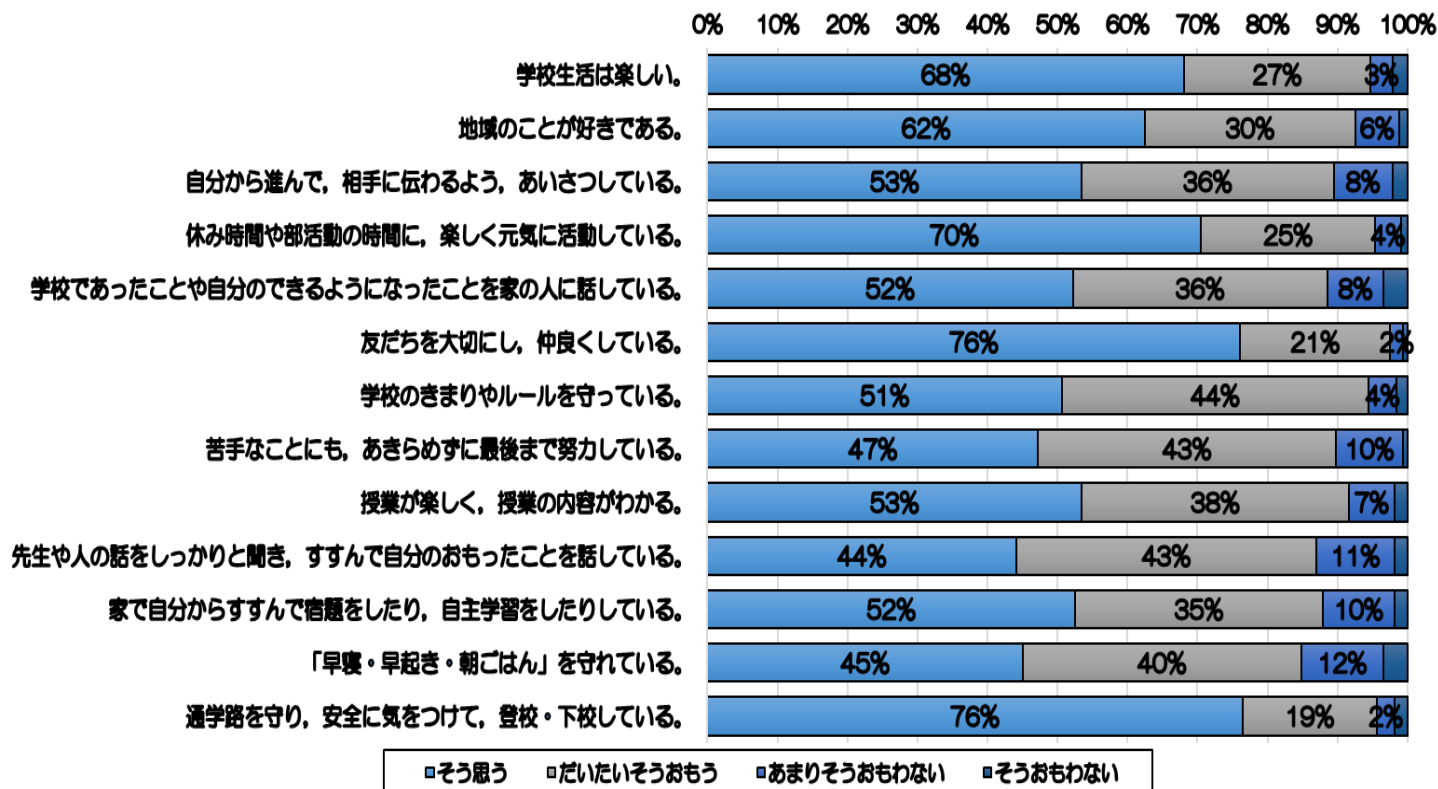
学校教育目標 夢に向かって自ら未来を切り拓く子どもの育成

令和4年9月30日
京都市立紫野小学校
校長 松下 誠太郎

令和4年度前期 紫野小学校教育評価アンケート集計結果のご報告

多くの皆様方にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果についてご報告させていただきます。

【児童自己評価】



<考察>

「そう思う、大体そう思う」を合わせて95%を超えているのは、「友だちを大切にし、仲良くしている(97%)」、「通学路を守り、安全に気をつけて登校・下校している(95%)」、「休み時間や部活動の時間に、楽しく元気に活動している(95%)」、「学校は楽しい(95%)」、「学校のきまりやルールを守っている(95%)」の項目です。昨年度後半のアンケートとほぼ同じ結果になっています。子どもたちが友だちを大切にしながら、元気一杯活動している様子や学校のきまりやルール、通学路を守りながら安全に過ごしている様子が伺えます。

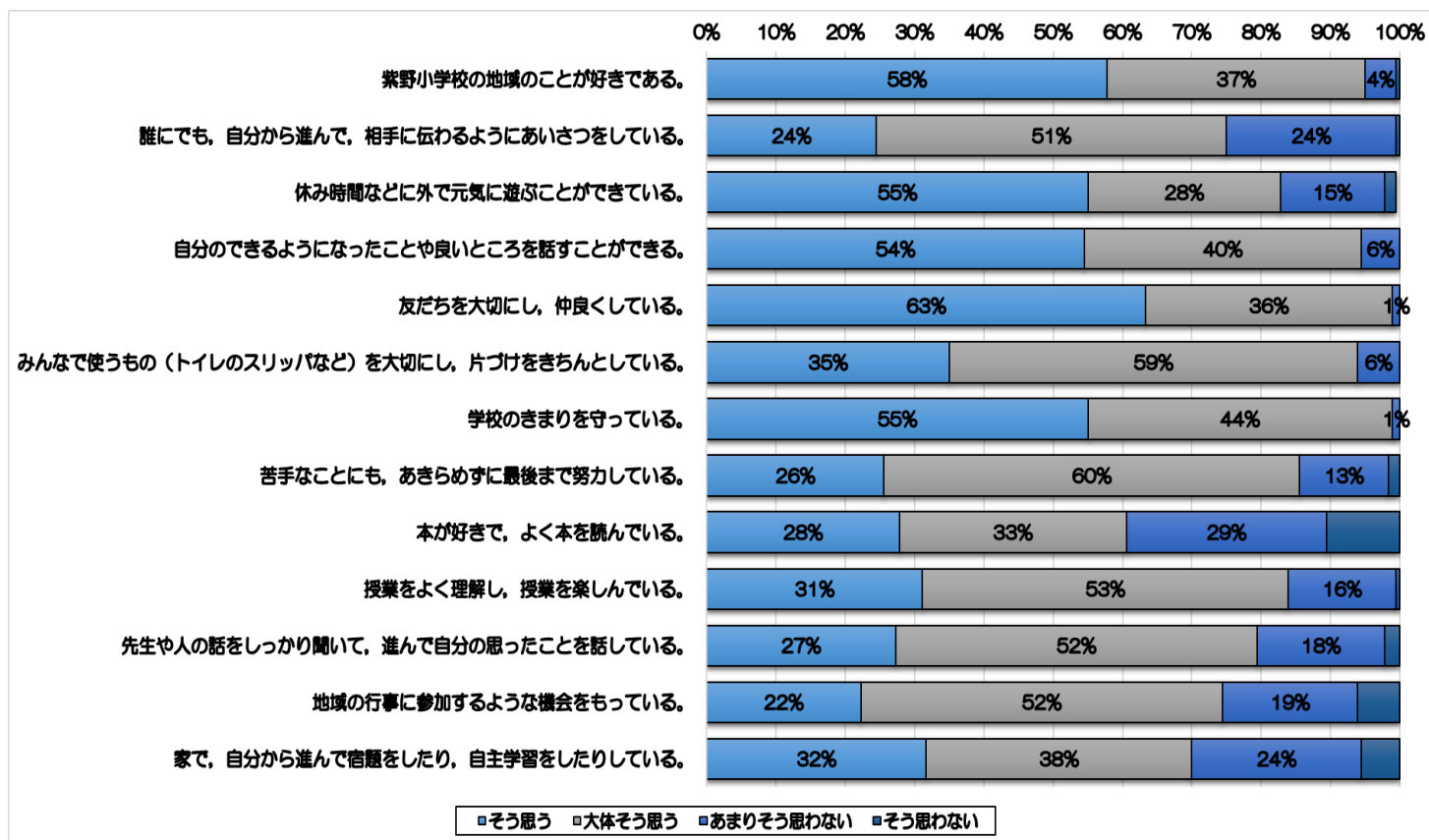
これらの傾向は、各家庭で大切にされている事柄と相似します。つまり、お家の方が、優しさや思いやり、和の心などを、子どもたちに呼びかけ育んでおられるのだと思います。子どもたちの姿は、家庭、学校の取組の調和だといえます。紫野小学校でも、日頃より、「人権についての学習」を大切にしています。互いのよさや頑張りを認め合い、互いに尊敬の拍手を送り合えるように、そして、人の「いのち、心、生き方」を徹底的に大切にできるように、今後とも働きかけてまいります。

今回のアンケートで、前回から大きく改善した項目は、「早寝・早起き・朝ごはんを守れている(78%⇒85%)」です。季節による傾向もあるでしょうが、学校や家庭での声かけや生活調べ等の取組の成果の一つといえます。子どもの健康や体づくりに関わる大事な事柄ですので、引き続き取組を進めたいと考えています。

「自分から進んであいさつすること」については、まだまだ課題が残ります。あいさつがしっかり実践できるように力を注ぎたいと考えています。また、子どもたちが、「よくわかる」と実感できるような授業が構築できるよう研鑽してまいります。

【保護者学校評価】

今回は、お答えいただいたお子たちの「学校生活の様子について」をもとに記述させていただきました。



<考察>

保護者の皆様から見た子どもたちの姿として、「友だちを大切にし、仲良くしている（99%）」、「学校のきまりを守っている（95%）」、「紫野小学校の地域のことが好きである（95%）」等の結果から、日頃より、ご家庭において、友だちの大切さや互いにルールを守って行動することの大切さを伝えていただいている感じが感じ取れます。また、子どもたちが、「学校や地域のことが好き」と感じていることは、とても嬉しいことです。このことは、「子どもたちの笑顔が見たい」と尽力いただいている地域諸団体の方々等の願いや取組が、子どもたちへと確かに渡されていることの証でもあります。

統合し、新たな紫野小学校が生まれて3年半。学校においても、「地域（人・もの・こと）」の素晴らしさを実感できる学習をさらに重ねていきたいと考えます。次代を担う子どもたちに、地域コミュニティの大切さを伝えていきたいと思ひます。

<アンケート結果から見える課題>

以上の結果考察から、取組の上で留意しなければならないことも見え隠れしてきます。例えば、読書に関わることや自分から進んで課題に取り組む姿勢などが挙げられます。

前回も記しましたが、「読書」についての環境作りは、とても大切なことです。GIGA 構想のもとで、ICT 活用は重要なのですが、書物に触れ、親しみ、向き合うことにより、思い考える力や感性が育まれるのも事実です。学校においても、図書室の利用や読書時間の確保、さらには読書ノートの活用に努めてまいります。また、探究活動や問題解決的な学習など、子どもたちが問題意識をしっかりとち、自ら進んで学習に臨む意欲を引き出せるようにしたいと思ひます。

子どもたちの健やかな成長には、私たち大人の関わり方が大事です。今後とも、教職員一同、全力で粘り強く学校教育の推進に当たってまいります。保護者や地域の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。